

第5次福井県保健医療計画に定める数値目標の状況

区分	項目	目標数値(平成24年度末)	平成23年度末
がん	がん検診受診率	50%超	28.7% (H22年度)
	5大がんに関する地域連携クリティカルパスを整備	5大がん	5大がん
脳卒中	ガイドラインに基づくt-PA治療が可能な医療機関	各医療圏に1箇所以上	各医療圏に1箇所以上
	地域連携クリティカルパス実施医療機関	10箇所以上	21箇所
急性心筋梗塞	AED取扱いを含む救急蘇生法講習会受講者数(20年度～24年度)	延10万人	延16万3千人
	地域連携クリティカルパス実施医療機関	5箇所以上	10箇所
糖尿病	地域連携クリティカルパス実施医療機関	10箇所以上	3箇所
	糖尿病に関する専門知識を有する医療従事者数	10%以上増	29.7%増
小児医療	#8000子ども医療電話相談事業件数 (18年度相談件数1,471件)	20%以上増	265%増
	時間外に小児輪番制当番病院を受診した入院の必要ない患者の割合	90%以下	90.0%
産科・周産期医療	周産期死亡率	全国10位以内	全国1位
救急医療	救急搬送所要時間	全国10位以内	全国5位
	AED取扱いを含む救急蘇生法講習会受講者数(20年度～24年度)	延10万人	延16万3千人
災害時医療	DMATチーム数	8チーム	17チーム
へき地医療	無医地区への巡回診療回数	200回以上	201回
在宅医療	在宅医療推進のためのコーディネーター設置地区	5箇所	7箇所

第5次福井県保健医療計画の進捗状況

項目		取組事項	平成23年度
			具体的な取り組み内容
医療連携	医療の役割分担と連携	医療機関の役割分担の普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○地域連携クリティカルパスの開発と普及 ・がん <ul style="list-style-type: none"> 胃・大腸がん【平成22年4月から運用】 適用実績:5病院 肺がん【平成23年4月から運用】 適用実績:2病院 乳がん【平成23年4月から運用】 適用実績:4病院 肝がん【平成23年10月から運用】 適用実績:1病院 普及実績:7月3日研修会 ・脳卒中【平成20年1月から運用】 適用実績:21病院 ・急性心筋梗塞【平成21年4月から運用】 適用実績:10病院 普及実績:8月28日研修会 ・糖尿病【平成21年10月から運用】 適用実績:3病院 普及実績:8月28日研修会
		かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及・啓発	○医療機関の医療機能を県のホームページにて紹介するシステムを更新し運用 病院 72施設 診療所 595施設 歯科診療所 285施設 助産所 26施設(H24.2末現在)
		医療機関の連携	○医療機関同士が、各医療機関の医療機能情報を共有化するシステムを更新し運用(各医療機関での入院受入の可能な患者の状態 等)
		医療機関の連携機器整備	○中核病院とかかりつけ医が患者の診療情報を共有できるシステムの構築に向けた検討会の開催およびシステムプレゼンテーションの実施
		施設・設備整備の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○救急医療の充実のため、福井赤十字病院、福井循環器病院、公立丹南病院の画像診断装置の整備に支援 ○災害時医療の充実のため、公立丹南病院、公立小浜病院、福井赤十字病院、至捷会木村病院、健康会嶋田病院に加え、藤田記念病院、市立敦賀病院の耐震工事にも支援 ○へき地医療の充実のため、名田庄診療所の医師住宅の整備、公立小浜病院の歯科診療ユニットの整備に支援 ○診療情報の一元化・共有化による医療連携の充実のため、高浜病院の医療情報システムの整備に支援
4疾病と5事業	がん	生活習慣の改善、がん予防意識の普及啓発およびがん検診体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ○がん検診の受診促進 ・市町、JA、商工会による未受診者に対する受診勧奨の実施 ・ショッピングセンター等において「出前がん検診」の実施 ・がん個別検診機関医師ががん検診推進医としてがん検診受診を勧奨 ・団体やマスコミ等と連携して普及啓発 ○受診機会の少ない小規模事業所へ出向き子宮がん・乳がんの出前がん検診を実施 ○全県を対象にした検診受診勧奨センターを設置し、がん検診未受診者に対して、電話による受診勧奨を実施
		がん医療センターの整備	○胃、大腸に加え肺がんについて複数の主治医による「チーム医療」を実施。
		陽子線がん治療施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○3月5日までの治療者数 114名 (H23年度目標110名) ○6月1日から先進医療適用、7月6日から水平照射治療室で治療開始 ○一般の方への講演会の開催、イベントでの啓発(1月末までに67回、11,242人が参加) ○県内外の医療関係者への説明会等の開催(1月末までに1,730人が出席) ○陽子線治療の高度化研究に着手(エックス線との併用、食道・乳がん治療)

項目		取組事項	平成23年度
			具体的な取り組み内容
4疾病 と 5事業	がん	がん診療連携拠点病院の機能強化	○がん診療連携拠点病院(県内5病院)による協議会で検討 ・がん登録の推進、緩和ケア研修、医療連携に関する取組みを協議
		地域がん医療水準の向上	○県統一パス(胃、肺、大腸、乳、肝がん)の運用 ○統一パスの見直しワーキングの開催
		医師・看護師等の人材確保・養成	○国立がんセンター等への医療従事者の派遣研修
		がん登録の向上	○各拠点病院において、がん患者の生存率を把握するため、生存確認調査の方法について検討
		医療情報の提供推進および相談支援体制の整備	○各診療連携拠点病院にて ・セカンドオピニオン受診体制の整備 ・医療実績や専門的にがん診療を行う医師の情報提供実施 ・患者や家族からの相談体制の整備
		緩和医療の推進	○各診療連携拠点病院において医師に対する緩和ケア研修会を実施(H22から単位制に移行)
	脳卒中	早期治療への意識啓発	○福井脳卒中県民講座の開催(2回) ・福井県協ビル8階大ホール(H23.5.22 288人) ・みくに文化未来館(H22.11.23 131人)
		救急搬送体制構築	○県・地域メディカルコントロール協議会(計5回開催予定)で救急搬送事例の検討や傷病者の搬送および受入れに関する実施基準の検証を実施
	急性心筋梗塞	AED普及と救急蘇生法講習強化	○AED普及のための講習会開催(H24.3.1現在) ・各地区消防 開催回数:1,297回 受講人数:42,257人 ・日赤福井県支部 開催回数:197回 受講人数:5,322人 計47,579人(昨年比約1万人増)
		医療機関の交流促進	○県・地域メディカルコントロール協議会(計5回開催予定)で救急搬送事例の検討や傷病者の搬送および受入れに関する実施基準の検証を実施(再掲)
		医療機関の連携強化	○急性心筋梗塞のクリティカルパスの普及に関する研修会を実施(H23.8.28 受講人数:73人)(再掲)
	糖尿病	発症予防の啓発活動	○世界糖尿病デーにおける普及啓発活動の実施(H23.11.13 エルパ) 慢性腎臓病(CKD)講演会、健康相談コーナー、血圧・血糖・HbA1c測定、パネル展示の実施
		医療従事者の専門性強化	○メタボリック健診普及事業 ・実践者ステップアップ研修(H24.3.1、H24.3.15) ○「ワンポイント・スキルアップ糖尿病」冊子の配布
		診療所と病院の連携強化	○糖尿病のクリティカルパスの普及に関する研修会の実施(H23.8.28 受講人数:73人)(再掲)
	小児医療	小児科医の確保	○総合的な医師確保事業の実施(後掲)
		小児救急医療の情報発信	○子どもの急病時の対処法を示したパンフレット「こんな時どうする?こどもの急病・ケガ知っておきたい対処法」を市町役場、保育園等を通じて配布(パンフレット内に、#8000電話相談、福井県こども急患センター、小児夜間輪番病院の情報も掲載し広報)

項目		取組事項	平成23年度
			具体的な取り組み内容
4疾病 と 5事業	小児医療	医療を受ける側の意識啓発	○小児科医が講師となり、子どもの急病時の対処法についての講習会を開催 県内市町 12回 受講者合計 721人
		小児医療体制の充実	○「福井県こども急患センター」を開設、運用 開設:平成23年4月1日(金) 時間:月～土 19時～23時 / 日・祝 9時～23時 受診者数:10,897人(H24.2月末現在)
	産科・周産期医療	産科医師確保	○総合的な医師確保事業の実施 (後掲)
		ハイリスク分娩受入体制の安定的確保	○地域周産期母子医療センターの運営を支援
		妊婦健診受診促進	○健診の原則無料化
		かかりつけ医と周産期母子医療センターの連携継続	○県・地域メディカルコントロール協議会(計5回開催予定)で救急搬送事例の検討や傷病者の搬送および受入れに関する実施基準の検証を実施(再掲)
	救急医療	救急と医療の連携	○県・地域メディカルコントロール協議会(計5回開催予定)で救急搬送事例の検討や傷病者の搬送および受入れに関する実施基準の検証を実施(再掲)
		救急蘇生法の普及	○AED普及のための講習会開催(H24.3.1現在)(再掲) ・各地区消防 開催回数:1,297回 受講人数:42,257人 ・日赤福井県支部 開催回数:197回 受講人数:5,322人 計 47,579人(昨年比 約1万人増)
		広域災害・救急医療システムの適切な運用	○応需情報入力の負担を軽減するよう、広域災害・救急医療システムを見直しし更新 ○福井県総合防災訓練において情報入力訓練を実施
	災害時医療	DMATによる災害時医療体制充実	○災害派遣医療チーム(DMAT)技能維持研修(中部ブロック)に5医療機関21名が参加(静岡県、福井県) ○災害医療従事者研修にDMAT(1医療機関(市立敦賀病院)1チーム)が参加 ○中部ブロックDMAT実働訓練にDMAT(2医療機関2チーム)参加 ○福井県合同防災訓練にDMAT(5医療機関5チーム)が参加
		被ばく医療従事者の育成	○初期被ばく医療従事者の研修会を開催(参加者数 59名) ○国の研修事業へ参加(福井県内の参加者数 延べ115名)
	へき地医療	医師確保の支援	○総合的な医師確保事業の実施 (後掲)
		へき地医療従事医師の養成	○県立病院による総合医を養成する研修コースの実施 (後掲)
		巡回診療の実施	○無医地区等への巡回診療の実施(診療回数 201回)
		へき地の診療支援	○へき地支援計画の策定・実施 ○へき地医療実務者会議での無医地区への医療支援計画見直し検討 ○無医地区等の巡回診療の実施およびへき地診療所への代診医の派遣

項目	取組事項	平成23年度
		具体的な取り組み内容
在宅医療	チームによる在宅医療体制確保	○ふくい在宅あんしんネットのモデル地区を新たに1地区指定(計7地区指定) 坂井地域:坂井地区医師会 若狭地域:社会保険高浜病院 奥越地域:福井社会保険病院 丹南地域:丹生郡医師会、鯖江市医師会、武生医師会 二州地域:市立敦賀病院 福井地域:福井市医師会、福井第一医師会
	多職種スタッフの連携推進	
	在宅医療技術の向上	○各地域における地域医療連携体制協議会等において、在宅医療の課題、今後の取組み等を検討
	在宅医療への意識啓発	